

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会誌



ハナミズキ

Vol.6

Dec. 2019



同窓会会長挨拶

リハビリテーション学科

同窓会会長 木戸 拓耶

皆様、こんにちは。今年度よりリハビリテーション学科同窓会会長を務めさせて頂いております。生活機能療法学専攻6期生の木戸拓耶と申します。今年度も同窓会の発展のために役員一同努力して参ります。皆様のご支援助とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年も無事に同窓会誌「ハナミズキ」を発行することができました。今回の「ハナミズキ」では、通常の活動報告に加え、旧アリーナのレストランへの改築について記載しています。

本同窓会では昨年度、千里リハビリテーション病院、副院長の吉尾雅春先生に「脳画像から読み解く障害の理解」というテーマで講演頂きました。

脳の機能解剖、それに伴う予後予測とアプローチについて学びました。

来年度の研修会は誠佑記念病院、診療技術部リハビリテーション室室長の北出貴則先生にご講演して頂く予定です。皆様と共に多くの事を学ぶことができる機会、また先輩後輩同士が繋がるきっかけとなれば幸いです。

最後になりましたが、熊本保健科学大学の卒業生として今後も一緒に大学や同窓会を盛り上げていきましょう。今年度も変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

教員挨拶

ご挨拶

銀杏学園 理事長

熊本保健科学大学学長 竹屋 元裕

リハビリテーション学科同窓生の皆様こんにちは、そして初めまして！

本年4月に学長に就任致しました竹屋と申します。専門は病理学で、熊本大学医学部での経験を生かして、本学の発展に貢献したいと思っております。どうぞ、宜しく申し上げます。

ご存じのように、本学は前身である化血研衛生検査技師養成所創立から数えて本年で60周年を迎えました。5月15日開催の60周年記念式典・祝賀会には貴学科同窓会からも多数ご参加戴き、大変有り難うございました。この60年間の卒業生総数は今年3月の卒業生を合わせると9,000名を超えました。リハビリテーション学科の設置は平成19年（言語聴覚学専攻は平成23年）と3学科中で一番最後でしたが、順調に卒業生が果立っておられ、3専攻合計で978名（理学療法学408名、生活機能療法学365名、言語聴覚学205名）となり、来年には

1,000名の大台を超えることになりました。

おりしも昨年10月に理学療法士及び作業療法士養成の指定規則が改正され、本学でも次年度以降の入学者を対象にカリキュラムの改定を行いました。カリキュラム改定の趣旨は、高齢化の進展に伴う医療需要の増大や地域包括ケアシステムに対応できる質の高い理学療法士及び作業療法士を養成することで、合わせて言語聴覚学専攻のカリキュラム改定も実施することで、3専攻ともに養成課程のレベルアップを図っていきます。この様な状況下で、本学にとつてリハビリテーション学科の存在はますます重要となつていくと認識しています。



■西里駅のこと

リハビリテーション学科
学科長 山野 克明

卒業生の皆さんには言うまでもなく、本学は熊本市郊外に位置するキャンパスです。郊外と言いますが、要するに「田舎」です。ただ、すぐ近くにJR西里駅がありますので、通学には便利な大学です。

西里駅は戦時中に西里信号場として開設され、昭和29年12月10日に正式に駅となりました。人に例えると御年65歳。定年など物ともせず、学生や地域の人たちのために頑張っています。

あまり知られていませんが、西里駅にはもともと駅員さんがいたようです。平成9年発刊の『新熊本市史』によれば、当時の国鉄が推し進めた経営合理化を理由に昭和45年9月1日をもって無人駅となっています。JR九州によれば、西里駅の1日平均乗車人員は約900名。約1,060名が利用する南熊本駅には駅員さんがいますので、JRを利用する学生がもう少し増えれば、駅員復活の可能性があるかもしれません。

本学開学以来、とりわけ学友会の皆さんは定期的に駅周辺の清掃を行われ、JR九州から表彰を受けたことも

あります。いつもお世話になっていて駅に対する感謝の気持ちが進められた丁寧な清掃活動で、地域の方々やJRの皆さんはとても感心なされています。

学生生活を静かに応援している西里駅をいつまでも大切にしたいものです。

■理学療法学を学んだ皆さまへ

理学療法学専攻

専攻長 久保 高明

同窓の皆さま、こんにちは。

皆さまご存知のことと思いますが、来年度から養成校の指定規則では、教員や実習指導者要件の変更、臨床実習前後の実技能力等の試験実施義務化などの改訂がなされます。それに先立って、本専攻には卒業生の松見先生が実習支援教員として勤務しておりますが、専攻長となった当方ともどもよろしく願っています。

さて、自身のことで恐縮ですが、最近、理学療法学の知識を用いて、なじみのない領域での貢献もできないかということを考えることが増えました。われわれの周りでは、企業との共同研究や一般企業への勤務などで、理学療

法学の知識を生かす方々が増えていきます。皆さまはまだまだ若く、さまざまな活躍ができるかと思しますので、理学療法士としての仕事の幅を広げていただきたく存じます。そうした活躍が、われわれ教員にとつて良い知らせになるでしょうし、後輩たちからすれば憧れの存在になるかもしれません。

話が変わりますが、最近、「人生百年時代」といわれるようになり、関わる方々の健康寿命を延ばすことにも、理学療法学の知識が生かせると思いますが、予防理学療法の領域も皆さまの活躍の場になるよう期待しています。

■花と教員が待っています

生活機能療法学専攻

専攻長 吉田真理子

こんにちは。今年度から、生活機能療法学(旧・作業療法学)専攻の専攻長を務めております。よろしく願います。

さて、昨年の『ハナミズキ』では新アリーナが紹介されましたが、その横、JR線路側に花壇と畑があるのをご存知ですか。昨年の夏は向日葵が咲いて、一面が黄色に輝いていました。今年度は、日日草やペチュニアが、ピンクや

赤の模様を描いて咲いています。

畑では、授業でOT専攻1年生が植えたサツマイモが育っています。後期の授業ではこれを収穫し、片手調理で、いきなり団子を作る予定だそうです。

冬の花壇は、少し寂しくなるかもしれませんが、春になるとまた鮮やかな花が咲くことでしょう。秋には作物も実ると思います。

もし、西里駅付近を通られることがありましたら、新アリーナ横の花壇を見てみてください。そこで一瞬、心を休めていただき、時間があれば2号館や3号館にも寄って行かれませんか。懐かしい顔の教員もいますので。

■「つながりって……よいもんだ!!」

言語聴覚学専攻

専攻長 大塚 裕一

卒業生がふと遊びに来ることがあります。話題は仕事の悩みが多いのですが、中には卒業生同士の結婚の報告などびっくりする内容など様々です。そんな中で毎回のことなのですが同級生のそれぞれの近況話に話題が広がっていきます。テレビの番組タイトルみたいですが「あいつ、今どうしてい

る？」って感じですか。そこでいつも思うことがあります。それはそれぞれが結構な割合で同級生の現況を把握しているということですよ。よくよく話を聞くと、たびたび同期とあっているとのこと……それはどの年度の卒業生にも共通しているように思います。そこではたわいもない話から仕事のこと、人間関係、将来のこと、結構な悩みまで様々なことを話し合っているようです。

人は人の支えなしでは生きていくことは困難であると昔から言われています。きっと多くの卒業生の皆さんも様々な場面で同期生、卒業生のつながりを感じ、そのつながりによって、幾度か助けられたことがあるのではないかと思います。

「同級生が近くにいてよかったです！」よく聞かれる言葉です。つながりって……よいもんだ。

リハ学科同窓会、いつまでも盛会であれ!! 祈念しております。



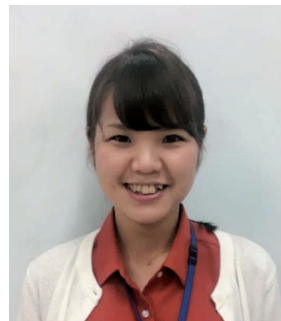
新任教員紹介

新任の先生方に趣味をうかがいました!



生活機能療法学専攻
講師
宮田 浩紀 先生

2019年3月まで九州栄養福祉大学に勤務していました。専門は地域作業療法学です。



理学療法学専攻
臨時(実習支援)教員
松見 遥香 先生

熊保大卒業後は病院に就職し、その後警察事務を経て6月から現職です。



生活機能療法学専攻
臨時(実習支援)教員
田川 朋美 先生

熊保大卒業後、熊本機能病院に勤めていました。実習全般のサポートをさせていただきます。



言語聴覚学専攻
臨時(実習支援)教員
平江 満充帆 先生

熊保大大学院の学生でもあります。摂食嚥下障害を研究しています。

平成31年度 研修会報告

令和元年9月14日・15日 同窓会学術研修会を行いました

「脳画像から読み解く障害の理解」をテーマに熊本保健科学大学で研修会を行いました。

講師に吉尾雅春先生を迎え、延べ200人もの参加がありました。



9月14日は脳画像の基礎、病巣の同定を、15日は脳画像の応用、予後予測とアプローチの概要について、実際の臨床場面も含め、ご講演いただきました。

また、資料として多くの画像や動画を提供いただいたことも、イメージのしやすさに繋がりました。



熊本保健科学大学の講義室を利用した研修会は、学生時代に戻ったような気分にもなりました。

休憩時には卒業生同士の会話であふれ、とても暖かい雰囲気です。研修会を進めることができました。

同窓会では今後も様々なテーマで講演会を実施していく予定です。

学びの場として、また、卒業生同士の交流の場としても、たくさんの参加をお待ちしています。

熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会会則

平成30年4月1日制定

第1章 総 則

- 第1条 この会は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科同窓会という。
- 第2条 この会は、本部を熊本保健科学大学リハビリテーション学科内（熊本市北区和泉町325番地）におく。
- 第3条 この会は、会員相互の親睦を図ると共に、学術技能の向上に努め、母校の名声を宣揚し、その発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- 1 各専攻間の連携・親睦を深めること。
 - 2 同窓会誌及び同窓会会員名簿発行に関すること。
 - 3 学術研修会及び研究発表会に関すること。
 - 4 その他この会の目的を達成するため必要な事業。

第2章 会 員

- 第1条 この会の会員は、次のとおりとする。
- 正会員 熊本保健科学大学リハビリテーション学科を卒業したもの。
特別会員 熊本保健科学大学職員で、会長の推薦したもの。
準会員 熊本保健科学大学学生
- 第2条 この会の会員（特別会員を除く）になろうとする者は、総会に於て定められた会費を納入しなければならない。
- 第3条 会員は、氏名、住所、勤務先等に変更が生じた場合は、その都度指定した連絡先に通知するものとする。

第3章 役 員

- 第1条 この会に、次の役員をおく。
- | | |
|------|-----------------|
| 会長 | 1名 |
| 副会長 | 2名 |
| 評議員 | 4名 |
| 会計 | 2名（事務局・学術局から1名） |
| 監事 | 2名 |
| 常任委員 | 各専攻・各期から2名 |
- 第2条 役員の選出方法は次のとおりとする。
- 1 会長及び副会長は、正会員の中より評議員会において選出する。
 - 2 評議員及び会計・監事は、常任委員会において常任委員の中から選出する。
 - 3 常任委員は、総会において会員の中から選出する。
- 第3条 役員の職責は、次のとおりとする。
- 1 会長は、この会を代表し、会務を統轄する。
 - 2 副会長は、会長を補佐し、会長に支障ある時はこれを代行する。
 - 3 評議員会は、会長の諮問する重要事項を審議する。
 - 4 監事は、この会の経理を監査し、評議員会に報告する。
- 第4条 役員の任期は、次のとおりとする。
- 1 会長は、任期を1年とする。
 - 2 副会長及び会計・監事・評議員は、任期を1年とする。
 - 3 常任委員は、任期を任意とする。
- 第5条 この会は、本部に事務局と学術局を設ける。
- 第6条 事務局は、常任委員より選出し、庶務部、企画部の係をおく。
- 1 庶務は、会員の異動調査及び会員名簿の出版等庶務一般の管理を担当する。
 - 2 企画は、総会・同窓会誌・講演会・懇親会の企画及び業務を担当する。
- 第7条 学術局は、常任委員より選出し、学術研修部、研究発表部の係をおく。
- 1 学術研修部は、研修会の企画・運営を担当する。
 - 2 研究発表部は、研究発表会の企画・運営を担当する。

第4章 会 議

- 第1条 会議は、総会及び評議員会とする。
- 第2条 総会は、次のとおりとする。
- 1 毎年本校において開催する。但し都合によって開催地を変更することができる。
 - 2 次年度の事業・予算決定、前年度の事業・決算報告の承認、その他会長が付議した重要な事項を議決する。
 - 3 議事は、出席者の過半数をもって決する。
 - 4 総会の欠席者は、議決に関する一切の権限を議長に一任することとする。
- 第3条 評議員会は、次のとおりとする。
- 1 会長が必要に応じてこれを招集する。
 - 2 総会に付議すべき事項、事業の執行に関する事項、その他会長が付議した事項について議決するものとする。

第5章 会 計

- 第1条 この会の経費は、会費、寄付金、賦課金及びその他の収入とする。
- 第2条 予算及び決算については、次のとおりとする。

- 1 この会の予算及び決算は、総会においてその承認を得なければならない。
- 2 決算書には、すべての財源及び使途ならびに現在の経理状況を明らかにし、会計監査を受け、その意見書を添付しなければならない。

- 第3条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第4条 この会の会計経理は、この会則に定めるもののほか、会計規則で定める。

第6章 会則の変更

- 第1条 この会の会則の改正は、総会において承認をうけなければならない。

付 則

- 1 この会則は、平成25年8月3日から施行する。
- 2 この会則は、一部改訂し、平成28年4月1日から施行する。
- 3 この会則は、一部改訂し、平成29年4月1日から施行する。
- 4 この会則は、一部改訂し、平成30年4月1日から施行する。

細 則

（会費・入会金・納入時期）

- 1 第2章第2条による会費は、永年会費5,000円、入会金5,000円とする。
- 2 会費は、熊本保健科学大学リハビリテーション学科入学時に納入するものとする。
- 3 準会員で退学したものは申し出により会費を返金するものとする。

会 計 規 則

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規則は、会則第5章に基づき、会計に関する必要な事項を定める。
- 第2条 会計は、経費及び物品の出納事務を取り扱い、会計担当常任委員がこれを行う。
- 第3条 出納の事務は、すべて文書により処理し、会長の決済を経なければならない。但し、請求書または領収書徴収不能の場合は、会長または会計担当常任委員以外の常任委員1名以上の認定を以て、これに変わることができる。
- 第4条 会計または支出に対し、不当と認められた時は、評議員会にはかるものとする。
- 第5条 予算外の支出または予算超過の支出に当てるため、予備費を設けることができる。
- 第6条 出納の経理を明らかにするため、下記の帳簿を備え証書類と共に保管しなければならない。
- (1) 金銭出納簿
 - (2) 会費納入者名簿
 - (3) その他の補助簿
- 第7条 会務のために出張する者または会務に従事する者に対しては、最低限必要と思われる旅費及び行動費を支給することができる。
- 第8条 会計は、年度毎に収入支出決算書を作成し、会計検査を受け、その意見書を付して、総会に提出しなければならない。
- 第9条 会計は、総会までに収入予算案を編成し、評議員会の議を経て総会に提出しなければならない。
- 第10条 会計は、必要に応じ評議員会の議を経て、一会計年度中の一定期間内にかかる暫定予算を作成し、これを執行することができる。この場合、暫定予算は当該会計年度の予算が成立したとき、その効力を失う。
- 第11条 会計は、必要と認めるときは会長の承認を経て、資金前渡を行うことができる。この場合、事務終了後直ちに精算しなければならない。
- 第12条 この規則の改正は、評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規則は、平成30年4月1日より施行する。

旅費及び行動費支給規定

平成30年4月1日制定

- 第1条 この規定は、会計細規則第7条の規定により旅費及び行動費支給に関する必要な事項を定める。
- 第2条 この会の会員及びその他の者で、会長の命令又は要請により会務のため出張する者又は会務に従事する者にはこの規定により旅費及び行動費を支給する。
- 第3条 前条の旅費とは、交通費の実費及び会長が必要と認めた場合の宿泊料とする。
- 第4条 行動費は日数に応じ、宿泊料は夜数に応じて支給する。
- 第5条 交通費は、等級の区分がある場合は最下級のものとし、必要がある場合は急行及び寝台の料金を加算することができる。
- 第6条 交通費実費の計算は目的地までの最短経路によって行う。但し、天災その他やむをえない事由により経路を変更した場合はその現に経過した経路による。
- 第7条 宿泊料は実費を支給する。行動費は日額1,000円とする。
- 第8条 会長は時宜により旅費及び行動費の一部もしくは全部を支給しないことができる。
- 第9条 この規定の改正は評議員会の承認を得なければならない。

- 1 この規定は平成30年4月1日より施行する。

平成30年度 事業報告

I. 運営に関する事項

1. 総会を開催する
平成31年3月9日（土） ザ・ニューホテル熊本
2. 役員会
22回開催

II. 教育に関する事項

- リハビリテーション学科同窓会開催
講演会開催
平成31年3月9日（土） ザ・ニューホテル熊本
「災害に医療従事者として向き合うこと
～熊本地震の経験から～」 赤坂威史先生

III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握
会員の住所録調査とデータ管理

IV. 福祉に関する事項

- 式典（入学式、卒業式）参列並びに祝電送付
会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第5号発行

平成30年度 収支決算報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入	1,200,000	1,370,000	▲170,000	平成30年度入学生 137名
2. 補助金収入	250,000	0	▼250,000	本年度研修会非実施のため補助金なし
3. 講演会・懇親会費	0	0	0	本年度講演会非実施
4. 雑収入	88	94	▲6	銀行利息
5. 前年度繰越金	9,184,266	10,994,202	▲1,809,936	(銀行10,874,646円 手持ち119,556円)
収入合計	10,634,354	12,364,296	▲1,729,942	

▲は予算より収入増
▼は予算より収入減

II. 支出の部

(単位：円)

費目	予算額	決算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会・懇親会開催費	100,000	36,000	▼64,000	同窓会役員懇親会
2) 福祉費	25,000	20,248	▼4,752	教員退職祝い2名分
2. 会議費				
1) 役員会会議費	250,000	96,000	▼154,000	
3. 事務費				
1) 備品費	10,000	37,584	▲27,584	パソコン ワードソフト
2) 消耗品費	10,000	0	▼10,000	
3) 通信費・印刷費	350,000	323,727	▼26,273	印刷、第5号ハナミズキ発送
4. 拠出費	0	150,000	▲150,000	同窓会連合会（H28.29.30年度分）
5. 予備費	10,000	540	▼9,460	銀行手数料
支出合計	755,000	664,099	▼90,901	

▲は予算より支出増
▼は予算より支出減

平成31年度 事業計画

I. 運営に関する事項

1. 総会開催
令和元年9月14日（土） 熊本保健科学大学
2. 役員会
20回開催

II. 教育に関する事項

- 講演会開催
令和元年9月14日（土）、15日（日）熊本保健科学大学
「脳画像から読み解く障害の理解」 吉尾雅春先生

III. 調査研究に関する事項

- 会員の活動状況の把握
会員の住所録調査とデータ管理

IV. 福祉に関する事項

- 式典（入学式、卒業式）参列並びに祝電送付
会員、準会員の慶弔禍福

V. 出版に関する事項

1. 同窓会誌『ハナミズキ』第6号発行

平成31年度 収支予算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

I. 収入の部

(単位：円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 会費収入	1,200,000	1,200,000	0	平成31年度入学生120名(40人×3専攻)
2. 補助金収入	250,000	250,000	0	学校法人銀杏学園250,000円
3. 講演会・懇親会費	0	440,000	▲440,000	35,000円＝一般：5,000円×70人 90,000円＝同窓会会員：3,000円×30人
今年度収入合計	1,450,000	1,890,000	▲440,000	
雑収入	88	88	0	銀行利息
前年度繰越金	8,747,292	9,184,266	▲436,974	
収入合計	10,197,380	11,074,354	▲876,974	

▲は前年予算額より収入増

▼は前年予算額より収入減

II. 支出の部

(単位：円)

費目	前年度予算額	予算額	差異	備考
1. 懇親会費				
1) 講演会開催費	0	390,000	▲390,000	謝礼金：21万円、役員日当：18万円
2) 懇親会開催費	80,000	80,000	0	懇親会費
3) 福祉費	35,000	35,000	0	電報代、大学行事参加経費
2. 会議費				
1) 役員会会議費	65,000	65,000	0	
3. 事務費				
1) 備品費	60,000	50,000	▼10,000	事務用品（パソコンソフト含む）
2) 消耗品費	10,000	10,000	0	事務用品
3) 通信費 印刷費	350,000	350,000	0	印刷、第6号ハナミズキ発送
4. 拠出費	900,000	50,000	▼850,000	同窓会連合会費（平成31年度分）
5. 予備費	1,000	1,000	0	銀行手数料など
支出合計	1,501,000	1,031,000	▼470,000	

▲は前年予算額より支出増

▼は前年予算額より支出減

監査報告

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科
同窓会会長 木戸 拓耶 殿

熊本保健科学大学保健科学部リハビリテーション学科同窓会会則第5章の規定により、令和元年10月19日、熊本保健科学大学スタッフルームにおいて、平成30年度決算について監査を実施しましたところ、一般会計、振替額など整備良好で会務とも適切な執行が行われていることを認めます。

令和元年10月19日

監事 濱田 多恵
監事 志賀 彰



講演会の希望受付

毎年、同窓会にて講演会・勉強会を企画しています。より皆様にとって有意義な機会にするために、講演会・勉強会の希望を受け付けています。

この講師・先生の講演を聞いてみたい、こんなテーマで開催してほしい、など皆様から頂いた希望を同窓会がサポートできればと考えています。

皆様からの貴重なご意見・ご要望をお待ちしています。

連絡先 Email : khsu-reha-gakujustukyoku@outlook.jp 同窓会学術局

名前・住所の変更

名前・住所の変更があった方は、小野高速印刷(株)までご連絡をお願いします。

変更前の氏名・住所と変更後の氏名・住所を合わせてご連絡ください。

小野高速印刷(株) 熊本営業所

熊本県熊本市中央区上水前寺1丁目12-12 第二コーポ・アベリア1F

連絡先 Tel : 096-382-1177 E-mail: kumamoto@ohp.co.jp

旧アリーナの工事が始まっています！

旧アリーナはレストランに、レストランはキャンパステラスになる予定です。

工事は2020年まで行われます。完成をお楽しみに。

